浴室個室化改良工事　特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　　門真市殿島町７番１号他

2．建物概要

建　物　名	構　造	階　数	建築基準法による延べ面積（㎡）	敷地面積（㎡）	消防法施行令別表第１の区分	耐震安全性の分類	備　考
消防本部	S	5	2436.26				既　存
守口消防署 東館出張所	RC	4	1196.02				既　存
門真本署	SRC	3（一部 8）	2603.85				既　存
門真消防署 南部出張所	RC	3	1542.05				既　存

3．工　事　種　目　　（○印の付いたものを適用する）

科　目	建　物　別　及　び　屋　外						
	消防本部	守口消防署 東館出張所	門真本署	門真消防署 南部出張所			屋　外
・空気調和設備							
○換気設備	○	○	○	○			
・排煙設備							
・自動制御設備							
・衛生器具設備							
○給水設備	○	○	○	○			
○排水設備	○	○	○	○			
○給湯設備	○	○	○	○			
・消火設備							
・ガス設備							
・雨水利用設備							
・厨房設備							
・浄化槽設備							
・建築工事	建築工事の部による						
・電気設備工事	電気設備工事の部による						

4．指　定　部　分　　※無し　・　有り　（指定部分工期：令和　年　月　日）
　　指定部分：

5．工　事　範　囲

6．設　備　概　要　　（工事後の概要を示すもので、仕様を規定するものではない）

空気調和設備	空調方式 ・中央方式　（・単一ダクト方式　・各階ユニット方式　・ファンコイルユニット、ダクト併用方式） ・個別方式　（・パッケージユニット方式　・パッケージユニット、ダクト併用方式）
	主要熱源機器 ・鋼製ボイラー　・鋳鉄製ボイラー　・温水発生機（・真空式　・無圧式） ・チリングユニット　・吸収冷温水機　・空気熱源ヒートポンプユニット　・氷蓄熱ユニット ・パッケージ形空気調和機　・ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機
排煙設備	機械排煙　・有り（・建基法　・消防法）　・無し
自動制御設備	制御方式　（・電気式　・電子式　・デジタル式）
給水設備	給水方式　（・水道直結方式　○高置タンク方式　○ポンプ直送方式　・水道直結増圧方式）
排水設備	建物内の汚水と雑排水（　・　合流　・　分流　）
	ポンプ排水　・有り（・汚水　・雑排水　・湧水　・雨水）　・無し
	放流先　汚　水　（・直放流下水管　・浄化槽　・敷地内最終処理施設）
	雑排水　（・直放流下水管　・浄化槽　・敷地内最終処理施設　・別途桝）
給湯設備	○有り　○局所式　・中央式）　・無し
	熱源　（・電気　・都市ガス　・液化石油ガス　・灯油　・A重油）
消火設備	・屋内消火栓　・連結送水管　・屋外消火栓・スプリンクラー　・粉末消火
	・泡消火　・連結散水　・フード等用簡易自動消火装置　・消防用水
	・不活性ガス消火（・不活性ガス　・二酸化炭素）・ハロゲン化物消火
ガス設備	・都市ガス　種別（　45．0MJ／Nm3）　・液化石油ガス
浄化槽設備	・有り　（・合併処理　・単独）　・無し

Ⅱ．工　事　仕　様

1．共　通　仕　様

1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○印の付いたものを適用する。
- ○「公共建築工事標準仕様書　（機械設備工事編）（令和４年版）（以下、「標準仕様書」という）
- ○「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和４年版）（以下、「改修標準仕様書」という）
- ○「公共建築設備工事標準図　（機械設備工事編）（令和４年版）（以下、「標準図」という）

2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

2．特　記　仕　様

1）項目は○印の付いたものを適用する。
2）特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用する。ただし、●印のない場合は※印を適用する。●印、◎印の場合は両方を適用する。

章	項　　目	特　記　事　項
一般共通事項	○環境への配慮	1）国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成１２年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和４年２月閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。 2）建築物内部に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①　合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗装、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②　接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③　接着剤は可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難燃発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④　上記①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	○機材の品質等	1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2）別表－１に機材等名が記載された製造業者等は次の①から⑥すべて事項を満たす証明となる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
	○官公署その他への手続き	関係官公署その他の関係機関への手続きなどの費用は受注者の負担とする。
	・電気保安技術者	適用する
	○施工調査	事前調査　調査項目（施工に先立ち、改修工事関連部分の事前調査を行い監督職員に報告書を提出する）
	○足場その他	本工事で設置する。 ・内部足場等（・　種　・　種）　・外部足場等（・　種　・　種　・　種） 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（２）手すり据置き方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行う。
	○工事用電力、水その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続等の費用は、すべて受注者の負担とする。
	○養生	既存部分の養生は、改修標準仕様書第１編３章による。
	○容量等の表示	1）機器類の能力、容量等は原則として表示された数値以上とする。 2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。
	○図形表示	図示する形状、配管の取出し位置等により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
	○機材の承諾図	「機械設備工事機材承諾図様式集　令和４年版」によるほか、監督職員の指示による。
	◎総合試運転調整	下記項目の総合試運転調整を行い、測定表を監督職員に提出する。（測定箇所等は監督職員の指示による。） ○風量調整　○水量調整　・室内外空気の温湿度の測定　・騒音の測定　・室内気流及びじんあいの測定 ・飲料水の水質の測定：費用（・本工事　・別途）　・雑用水の水質の測定：費用（・本工事　・別途）
	○天井仕上区分	図中（　）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	・他工事との工事区分	図面に特記なき場合は、工事区分表による。
	・耐震施工	設備機器の固定は、施設の分類並びに機器の種別、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。 1）設計用水平地震力 機器の重量［kN］（水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。

設計用標準水平震度

施設の分類		特定の施設		一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上　層　階 屋上及び塔屋	機　　器	2．0	1．5	1．5	1．0
	防振支持の機器	2．0	2．0	2．0	1．5
	水　槽　類	2．0	1．5	1．5	1．0
中　間　階	機　　器	1．5	1．0	1．0	0．6
	防振支持の機器	1．5	1．5	1．5	1．0
	水　槽　類	1．5	1．0	1．0	0．6
地階・１階	機　　器	1．0	0．6	0．6	0．4
	防振支持の機器	1．0	1．0	1．0	0．6
	水　槽　類	1．5	1．0	1．0	0．6

注）上層階とは、２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階、１３階建以上の場合は上層４階とする。
中間階とは、地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの。
水槽類にはオイルタンク等を含む
重要機器は次のものを示す。
・給水機器（　　）　・排水機器（　　）　・換気機器　・空調機器
・熱源機器　・防災設備　・監視制御設備　・危険物貯蔵装置　・火を使用する設備
・避難経路上の設置する機器
2）設計用鉛直地震力
設計水平地震力の１／２とする。

○配管	1）ステンレス鋼管の接合方法 呼び径６０Ｓｕ以下の継手はＳＡＳ３２２による拡管とする。 2）建築物導入部の変位吸収方法は、下記による。 給水配管：標準図（施工４、５建築物導入部の変位吸収配管要領・（ａ）・（ｂ）・（ｃ））による。 ・屋外埋設用配管にポリエチレン管を使用し、建物導入部において異種管と接合する場合、点検口桝　標準図（機材６　ＴＣ－１）を設け、変位吸収余長をとる。 ガス配管：標準図（施工４、５建築物導入部の変位吸収配管要領・（ａ）・（ｂ）・（ｃ））による。 ・屋外埋設用配管にポリエチレン管を使用し、建物導入部において異種管と接合する場合、点検口桝　標準図（機材６　ＴＣ－１）を設け、変位吸収余長をとる。 油配管：標準図（施工４、５建築物導入部の変位吸収配管要領・（ａ）・（ｂ）・（ｃ））による。 3）溶接部の非破壊検査 ○不要　●要（・放射線透過検査　・浸透探査検査または磁粉探傷検査） 抜取率　・標準仕様書による　・＿＿＿％
・支持金物、固定金具	ポンプ及び屋外設置機器・ピット内のアンカーボルト、ナット類はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし、屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製（ＳＵＳ３０４）または、溶融亜鉛めっき仕上げとする。 溶融亜鉛めっきは（※ＨＤＺＴ　４９　・ＨＤＺＴ　７０）とする。
・防振継手	※合成ゴム製　・ベローズ形
・伸縮管継手	※ベローズ形　・スリーブ形
・弁類	ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径５０以下は青銅製、呼び径６５以上はステンレス製とする。
・埋設表示	標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。　（標準図（機材２地中埋設標））
○保温	1）暖房熱源機器室内の配管の保温材で、ポリスチレンフォーム保温材とあるものは同じ施工種別のロックウールまたはグラスウール保温材を使用する。 2）冷媒管の保温外装は下記による。 屋内露出　○合成樹脂製カバー［ａ１（イ・ロ）Ｉ］ ・保温化粧ケース（・耐候性樹脂製　・＿＿＿＿製） 屋外露出　●ステンレス鋼板［ａ２（イ・ロ）Ｉ］ ・保温化粧ケース（・ステンレス鋼板製　・高耐食性溶融亜鉛めっき鋼板製 ・耐候性樹脂製　・＿＿＿製） ・保温化粧ケースは上部を歩行できるものとする。 3）膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。 4）建物内のエア抜き管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。 （エア抜き弁以降の配管は除く。） 5）暗渠内（ピット内を含む）の空調用ドレン管は保温（・有り　・無し）とする。 6）空調対象室部分（天井内含む）の外気取入れ用ダクトは、保温（２５mm厚）する。 7）厨房用排気ダクトの断熱（隠ペい部）　・Ｉ（イ）Ｉｘ　又はｈ（イ）Ｉｘ　・行わない 8）共同清内の保温種別は下記による。 ダクト： 配管：
・塗装	下記の露出配管、ダクト（ダクト構成部材含む）、電線管及び支持金物の塗装を行う。 ・屋外：　・ドレン管　（指定色塗装）　・金属電線管（　・溶融亜鉛めっき仕上げ　・指定色塗装） ・屋内：　・ダクト　（指定色塗装）　・金属電線管（　・溶融亜鉛めっき仕上げ　・指定色塗装） ダクト内面の室内外より見える範囲は塗装する。 露出配管で溶融亜鉛めっき仕上げを使用する場合は、ＨＤＺＴ　４２とする。
○非破壊検査	はつり、穴開けなびあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査機により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行い、監督職員に報告する。 放射線透過検査については監督職員の指示によるものとし、検査費は別途とする。
・建設発生土の処理	※構内敷きならし　・構内指定場所へのたい積 ・構外に搬出し関係法令等に従い、適切に処理（施工条件明示）
・埋め戻し土、盛土	※根切り土の中の良質土（コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類）　・山砂の類
・電線類	電線及びケーブルは、標準仕様書第４編１．５．１表４．１１によるほか、 製造者の標準仕様による。ＥＭ電線、ＥＭケーブルを選択するよう努める。
・鋼板製煙道	1）厚さ　　※３．２mm　・４．５mm 2）煤煙濃度計　・取付ける　・取付けない　・取付座を設ける 3）煤ほん量測定口（８０mm×２）を　※設ける　・設けない
・オイルサービスタンク	1）液面制御装置の機能は下記による。 ・給油オイルポンプの起動、停止　・返油オイルポンプの起動、停止　・ポンプ緊急停止警報 ・満油警報　・減油警報　・遠方警報接点　（・満油　・減油） 2）油面計はゲージ式（側圧式）とする。 3）返油オイルポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは、通過形接点とする。
・油積算流量計	※設ける（図示した箇所に取付ける）　・設けない
・オイルタンク	1）据付け方法　・鋼製強化プラスチック製二重殻タンク標準図 （施工３２据付け図、施工３４外装及び構造施工要領） ・地下オイルタンク標準図（施工３３据付け図、施工３５外装及び構造施工要領） 2）鋼板製タンクの保護被覆は　※強化プラスチック　・エポキシ樹脂　・ウレタンエラストマー樹脂 3）遠隔油量指示装置［油面計は（・抵抗変化式　・磁歪式）で（・屋内　・屋外）より油量監視用］を取付ける。 4）鋼製強化プラスチック製二重殻タンクには漏えい検知設備を設置する。
○撤去工事	1）撤去する配管、ダクト等の保温材は配管、ダクト等より分離する。 2）撤去する配管及びダクト等の支持金物・吊りボルト等は撤去する。
・石綿含有品	石綿含有分析調査　・本工事　・別途　・無し アスベスト含有設備資材（ガスケット、パッキン、たわみ継手等）は関係法令に従い適切に処理を行う。

空気調和設備・換気設備	・設計用湿度条件

		外気条件		室内（調整目標値）			
				一般系統			
		温度（DB）	湿度（WB）	温度（DB）	湿度（WB）	温度（DB）	湿度（WB）
夏季	9時	31．7℃	67　%	28．0℃	50%	℃	%
	12時	33．8℃	60　%				
	14時	33．6℃	61　%				
	16時	32．8℃	65　%				
冬季		1．5℃	59　%	19．0℃	40%	℃	%

・配管材料	1）冷温水管　　※配管用炭素鋼鋼管（白管）　・ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） 2）冷却水管　　※配管用炭素鋼鋼管（白管）　・塩ビライニング鋼管　・ポリ粉体鋼管 3）空調用ドレン管　※配管用炭素鋼鋼管（白管）　・硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）（～３０Ａ） ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ）（４０Ａ～） ・カラー硬質ポリ塩化ビニル管（カラーＶＰ）（屋外露出） 4）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管　※配管用炭素鋼鋼管（白管） 5）蒸気給気管　※配管用炭素鋼鋼管（黒管） 6）蒸気還管　※圧力配管用炭素鋼鋼管（ＳＴＰＧ３７０　黒管　Ｓｃｈ４０） 7）油・油用通気管　※配管用炭素鋼鋼管（黒管） 8）ブライン管（氷蓄熱槽現場施工の場合）　※配管用炭素鋼鋼管（黒管） 9）冷媒管　※断熱材被覆鋼管　・銅管
・配管勾配	ドレン管の横走り管の勾配は1/100～1/150 以上とする。
・弁類	1）図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋとする。 2）ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往．還）には、ボール弁を取付ける。 また、ファンコイルユニットには、（※流量調整弁　・定流量弁）を設ける。
・温度計	1）標準図によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・空気調和機、全熱交換器廻りの還気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト 2）機器附属以外の温度計は　※バイメタル式温度計　・ガード付きし形温度計
・瞬間流量計	1）形状はピトー管方式（止水コック付）（固定式）とする。 2）下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 ・冷凍機器の冷水出口 ・冷凍機器の冷却水出口 ・ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・冷温水ヘッダーの各送り管 ・ユニット形空気調和機の冷温水入口
・圧力計	標準図によるほか図示した箇所に取付ける。
・吹出口、吸込口	ボックスは、　※亜鉛鉄板製　・グラスウール製
○ダクト	1）ダクト区分　※低圧ダクト　・高圧１ダクト（範囲は図示）　・高圧２ダクト（範囲は図示） 2）長方形ダクト工法　※コーナーボルト工法（共板フランジ工法又はスライドオンフランジ工法） （ただし、長辺が１５００mm以下の部分とする。） ※アングルフランジ工法 3）厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」を適用する。 4）ダクトの防火区画貫通部は標準図（施工４２ダクトの防火区画貫通部施工要領）による。
・ダンパー	防煙ダンパー　僅備方式　※遠隔復帰式（定格入力ＤＣ２４Ｖ）　・手元式
・チャンバー等	1）線状吹出口は（長さ＋１００mm）×幅３００mm×高さ３００mmの接続チャンバーを設ける。 2）シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工４９吹出口及び吸込口ボックスの例）による。 施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3）外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合は、雨水等の浸留のないように施工する。 4）吹出口接続チャンバーには消音内貼りをすること。 5）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は、外形寸法とする。 6）吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口を取付ける。 点検口の大きさは、図面特記なき場合厨房と（ａ４００mm×６００mmとする。
・ウェザーカバー	材質（・ステンレス製）　塗装（・指定色塗装　・耐重塩害仕様） 附属品［・網・防ダンパー（図示による）］　・別図による
・ベントキャップ	材質（・ステンレス製）　形状（・深形　・丸形防風板覆い付） 塗装（・指定色塗装　・耐重塩害仕様指定色塗装） 附属品［・水切り　・ガラリ　・網　・防火ダンパー（図示による）］　・別図による
・グリス除去装置	・グリスエクストラクター　・グリスフィルター
・定風量、変風量ユニット	・メカニカル形　・風速センサー形
・冷温水管等の空気抜き	1）空気溜まりを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜弁装置（※手動　・自動）を設ける。 2）自動エア抜弁装置は標準図（施工３８蒸気及び冷温水管の配管要領（ｇ）自動エア抜弁装置）による。 3）機械室の手動式空気抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より２mとする。
・冷却塔	標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。
・水質基準	空調用流体の水質基準については、日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器水質ガイドライン）による。
・パッケージ形空気調和機（マルチ形、ルームエアコン、ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機含む）	1）冷媒管口径、電気配線サイズは製造者標準仕様とする。 2）屋内機、屋外機間の電気配線（アース共）は冷媒管と共巻きとする。 3）冷媒はオゾン層破壊係数ＯのものもOとする。 4）補助電気ヒーターは加湿器を組込む場合は、送風機とインターロックする。

排煙設備	・ダクト　※亜鉛鉄板製　・鋼板製（厚１．６mm）
	・排煙口　・パネル形（・天井取付　・壁取付） ・ベントレット形（・天井取付　・壁取付） ・ダンパー形（・天井内取付）
	・排煙口開放及び復帰方式　・手動及び電気式（遠隔操作　・要　・不要）　・手動式
	・配線　排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第４編１．５．１表４．１１による 耐熱・耐火ケーブルとする。
	・排煙風量測定　建築設備定期検査業務基準書２０１６年版［（一財）日本建築設備・昇降機センター］の排煙風量の検査方法に準じる。
自動制御設備	・中央監視制御装置　・有り（構成機能は図示による）　・無し
	・電源装置　・要　（　・本工事　・別途工事　）　・不要
	・温度調節器等　取付け高さ　※１３００mm　・＿＿＿＿mm
	・電気計装用配線　1）電線及びケーブルは、標準仕様書第４編１．５．１表４．１１によるほか、 製造者の標準仕様による。ＥＭ電線、ＥＭケーブルを選択するよう努める。 2）屋外、屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配管とする。 3）天井内隠ぺいの配線は図面の特記がなければケーブル配線とする。
	・自動制御盤　屋外用キャビネットはステンレス鋼板製とする。
衛生器具設備	・標識板　大便器、小便器には標識板を取付ける。
	・小便器用節水装置　図面に特記なき場合は、洗浄水量が４Ｌ／回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 形式　※小便器　・体型　・小便器分離型 方式　※個別感知の電源種別（※ＡＣ電源　・　　）
	・自動水栓　電源種別（※ＡＣ電源　・自己発電　・　　）
	・大便器　大便器の洗浄水量は６．５Ｌ／回以下とする。
	・衛生器具と排水管接続　※標準図（施工６５大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとビニル管接続要領）

給水設備	○配管材料　1）上水　一般配管　・ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） ・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＡ）（ＳＧＰ－ＦＶＡ） ○水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ） 土間配管　・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ）（ＳＧＰ－ＦＶＤ） ・ポリ粉体鋼管（ＳＧＰ－ＰＤ）（ＳＧＰ－ＦＰＤ） 屋外地中配管　・ポリエチレン管 ・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ）（ＳＧＰ－ＦＶＤ） ・ポリ粉体鋼管（ＳＧＰ－ＰＤ）（ＳＧＰ－ＦＰＤ） 2）雑用水　一般配管　・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＡ）（ＳＧＰ－ＦＶＡ） 土間配管　・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ）（ＳＧＰ－ＦＶＤ） 屋外地中配管　・水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ） ・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ）（ＳＧＰ－ＦＶＤ） 3）ビニル管の接合方法　※接着接合 ・ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする） 4）ポリエチレン管の接合方法　５０Ａ以下（※メカニカル接合　・電気融着接合） ７５Ａ以上　電気融着接合 5）特記なき給水管の最小管径は呼び径２０とする。 6）水道直結配管の引き込みは水道事業者の指定による。

給水設備	・量水器　1）親メーター　※借用　・買取り　［・現地表示式（直読式）　・遠隔表示式（パルス式）］ 2）子メーター　※買取り　・借用　［・現地表示式（直読式）　・遠隔表示式（パルス式）］
	・量水器桝　1）親メーター用　※水道事業者の指定品　・標準図（機材５７量水器桝） 2）子メーター用　※標準図（機材５７量水器桝）　・水道事業者の指定品
	○弁類　1）図面に特記なき場合の耐圧は下記による。 公営水道に直結する配管に使用するものは、１０Ｋとする。 受水タンク以降の配管に使用するものは、５Ｋとする。 2）給水引込部の（・止水栓　・弁桝）は水道事業者の指定品とする。
	・定水位調整弁　・標準仕様書による（附属品含む）　・水道事業者指定品 ・定流量弁を定水位調整弁の手前に設置する。
	・緊急遮断弁装置　屋外に設置する制御盤はステンレス製とする。
	・水栓柱　※合成樹脂製　・アルミニウム合金製　・ステンレス鋼製 ・ステンレス鋼製ドーム形
	・水栓　1）屋外の水栓　・キー式ハンドル 2）台所流し用の水栓は泡沫式とする。

排水設備	○配管材料　1）屋内汚水管　・排水用塩ビライニング鋼管　・コーティング鋼管（ノンタールエポキシ） ○硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　・鉛管 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ） 2）屋内雑排水管　・排水用塩ビライニング鋼管　・コーティング鋼管（ノンタールエポキシ） ・配管用炭素鋼鋼管（白管）　○硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　・鉛管 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ） 3）通気管　※配管用炭素鋼鋼管（白管）　○硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ） 4）ポンプ排水管　・コーティング鋼管（ノンタールエポキシ） 5）屋外地中排水管　・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（ＲＳ－ＶＵ）（歩道部分） ・硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）（車道部分） ・コンクリート管（外圧管１種Ｂ形） （車道部分　埋設深さが管上端より600mm未満の配管） 6）その他　湯沸流し等の床上露出部分、衛生器具接続部分はビニル管としてもよい。

給湯設備	○配管材料　○保温付被覆鋼管　・銅管　・耐熱性ライニング鋼管　○ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） ※瞬湯器、給湯器まわりの附属配管等は製造者標準品とする。
	・弁類　図面に特記なき場合の耐圧は下記による。 公営水道に直結する配管に使用するものは、１０Ｋとする。 受水タンク以降の配管に使用するものは、５Ｋとする。
	・注意板　屋内設置のガス瞬間湯沸器、ガスコンロを使用する場合には「ガス湯沸器、ガスコンロを使用する場合は、手動スイッチにより排風機を運転すること」と記載した注意板を設ける。

消火設備	・配管材料　1）屋内消火栓　一般配管　・配管用炭素鋼鋼管（白管） 地中配管　・消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ） 2）連結送水管　一般配管　・圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０） 地中配管　・消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（ＳＴＰＧ３７０－ＶＳ）
	・消火栓開閉弁の耐圧　※１０Ｋ　・１６Ｋ
	・保温　1）呼水タンクの保温　※施工しない　・施工する 2）充水タンクの保温　※施工しない　・施工する 3）消火配管の保温は次による。（屋外露出、寒冷地は保温種別ｅ２・ハ・Ⅶによる） ・屋内消火栓　※施工しない　・施工する ・スプリンクラー　※施工しない　・施工する ・連結送水　※施工しない　・施工する ・連結散水　※施工しない　・施工する
	・屋内消火栓種別　※広範囲型２号消火栓　・易操作性１号消火栓　・１号消火栓　・２号消火栓
	・屋外消火栓箱、ホース格納箱　※鋼板製　・ステンレス鋼板製

ガス設備	・配管材料　1）都市ガス　ガス事業者の供給規定による。 2）液化石油ガス　一般配管　※配管用炭素鋼鋼管（白管） 地中配管　※合成樹脂被覆鋼管　・ガス用ポリエチレン管
	・ガスメーター　1）親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2）子メーター計量方式　（・実測式　・パルス式　）
	・ガス漏れ警報器　・本工事（取付け位置は図示による）　・別途工事 外部出力端子（・不要　・要）　警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は、別途工事とする。
	・液化石油ガス充てん容器　・１０kg　・２０kg　・５０kg　　本　※借用　・買取り
	・バルク貯槽　・縦型　・横型　最大充てん量＿＿＿＿ｋｇ　・借用　※買取り
	・容器廻りの配管　※自動切替式　施工方法は標準図（施工７２液化石油ガス容器廻り配管要領 ・（ａ）・（ｂ）・（Ｃ）とする。
	・容器転倒防止　施工方法は標準図（施工７４液化石油ガス容器転倒防止施工要領　・（ａ）・（ｂ）とする。
	○その他　都市ガスはガス事業者の供給規定による。

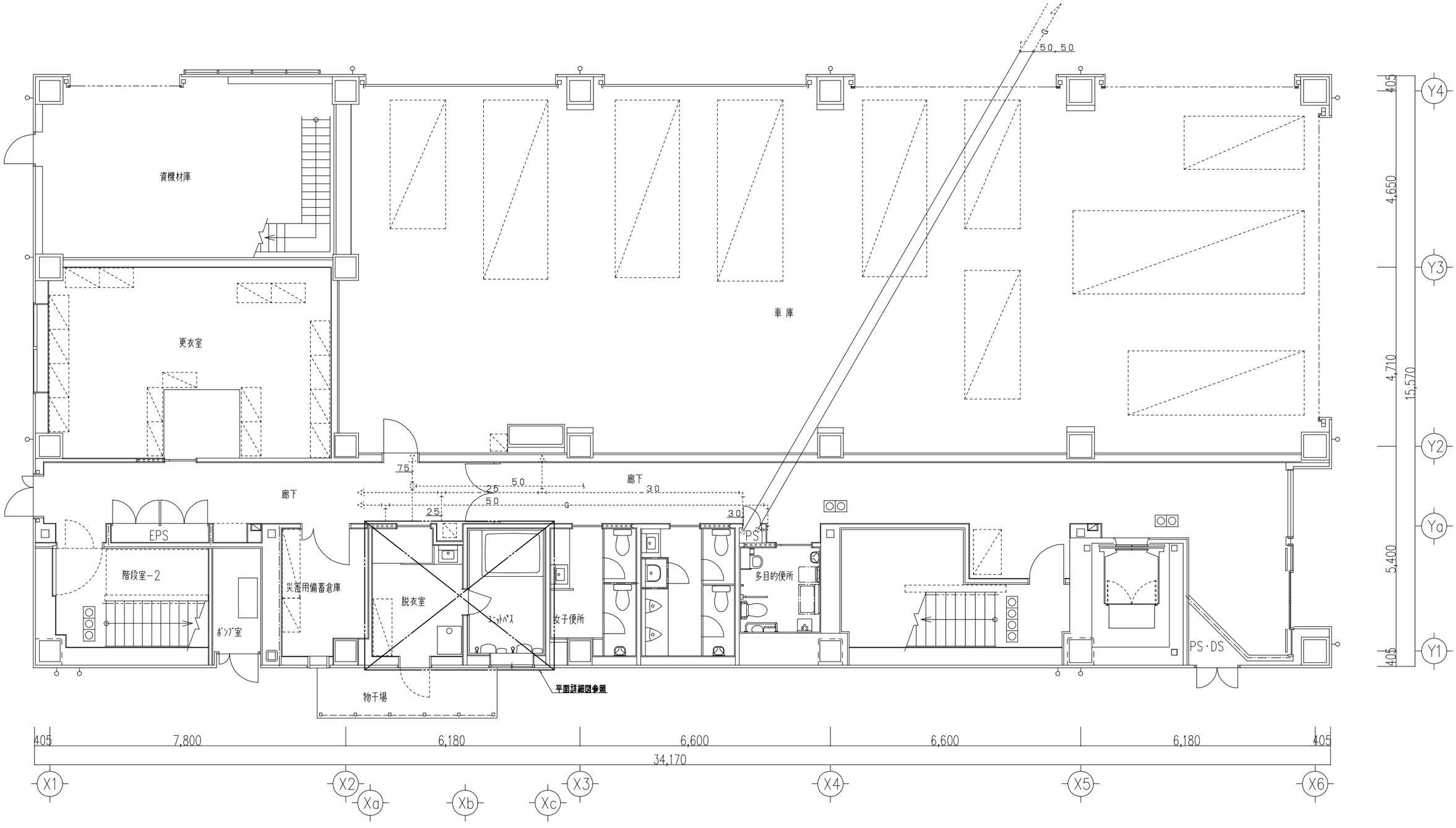
雨水利用設備	・配管材料　1）雑用水　一般配管　・水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ） ・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＡ） 土間配管　・水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ） ・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ） 屋外地中配管　・水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ） ・塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ） 2）雨水　一般配管　・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ） オーバーフロー　・配管用炭素鋼鋼管（白管） 地中配管　・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ） ・配管用炭素鋼鋼管（白管） 3）その他　薬液注入配管は薬液注入設備の附属品とする。
	・量水器　※遠隔表示式（パルス式）　・現地表示式（直読式）
	・弁類　図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋとする。

別表－１

機　材　等　名	
ボイラー	鋼製ボイラー、鋼製簡易ボイラー、鋼製小型ボイラー、鋳鉄製ボイラー
温水発生機	真空式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）、無圧式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）
冷凍機	チリングユニット及び空気熱源ヒートポンプユニット、遠心冷凍機、吸収冷温水機 吸収冷温水機ユニット
冷却塔	冷却塔
空気調和機	ユニット形空気調和機、コンパクト形空気調和機、ファンコイルユニット及び カセット形ファンコイルユニット、パッケージ形空気調和機、 ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機　マルチパッケージ形空気調和機
空気清浄装置	エアフィルター（パネル形、折込み形） 自動巻取形エアフィルター、電気集じん器
全熱交換器	全熱交換器（回転形、静止形）
送風機	遠心送風機（多翼形送風機）、軸流送風機、斜流送風機、消音ボックス付送風機
ポンプ	横形遠心ポンプ、立形遠心ポンプ 水中モーターポンプ（汚水用、雑排水用、汚物用）
制気口及びダンパー	風量ユニット（定風量、変風量）
自動制御	自動制御システム
衛生器具	衛生器具ユニット
タンク	ＦＲＰ製パネルタンク、密閉形隔膜式膨張タンク（空調用・給湯用） ステンレス鋼板製パネルタンク（溶接組立缶・ボルト組立形）
消火装置	スプリンクラー消火システム、不活性ガス消火システム、泡消火システム ハロゲン化物消火システム
厨房機器	厨房システム
鋳鉄製ふた	マンホールふた、弁栓ふた

date		株式会社　匠設計（たくみ）	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事
2023．3						図面名	機械設備　特記仕様書

scale	No.
―	M-01



1階平面図　1／100　（現況）

注記）
---------- は既設を示す。

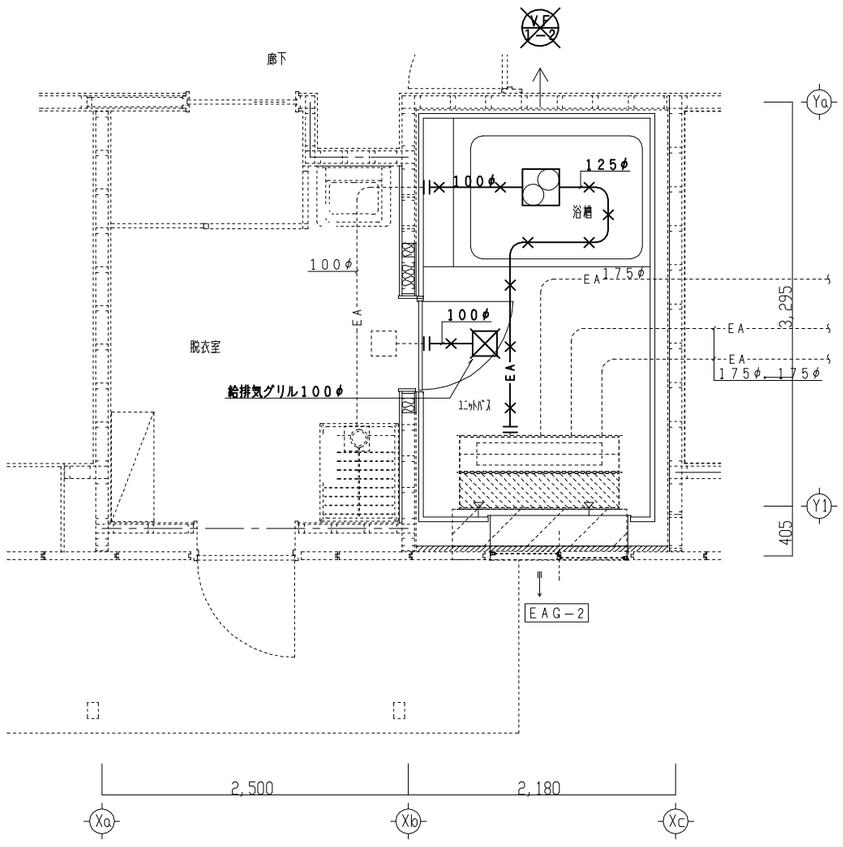
date		株式会社 匠設計（たくみ）	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（消防本部）	scale
2023. 3						図面名	機械設備　１階平面図（現況）	1/100

No. M-02

現況・撤去

換気機器表（撤去）

記　号	型　式	能　力	台数	備　考
ＶＦ－１－２	ダクト用換気扇	二部屋換気 １００φ×２００ＣＭＨ×６０Ｐａ	１	ＶＤ－１５ＺＰＣ１２



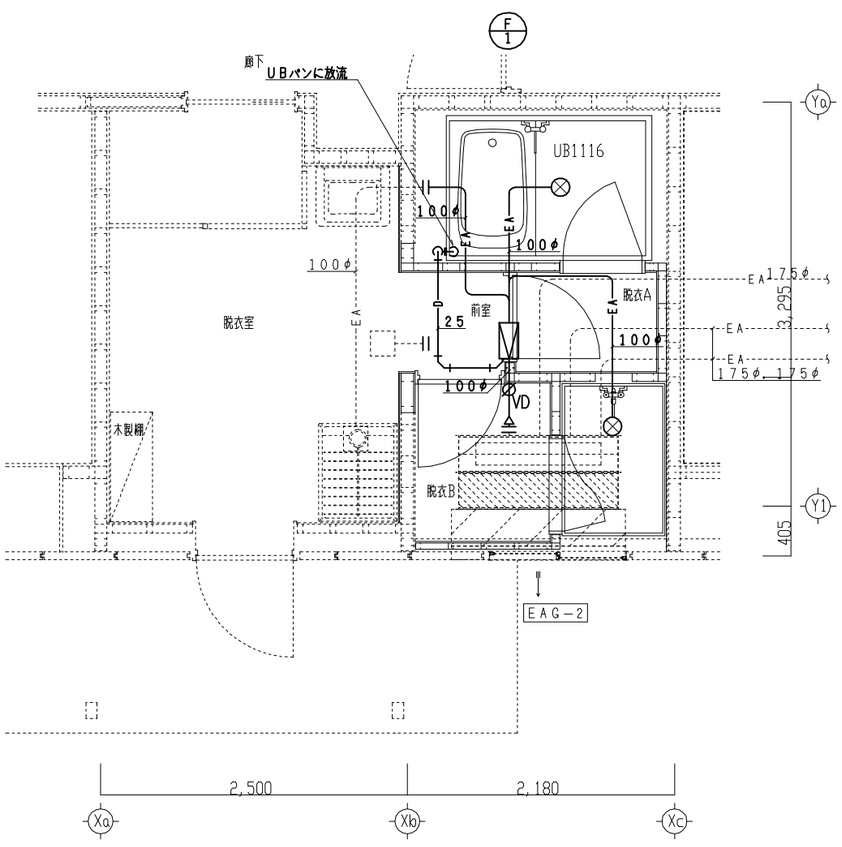
浴室平面詳細図　１／５０

注記）
- ×―×― は撤去を示す。
- ／―／― は放棄を示す。
- ---------- は既設を示す。
- ―||―― は切断を示す。

改　修

記　号	型　式	風量ＣＭＨ	静圧Ｐａ	電気容量		台数	備　考
Ｆ－１	シロッコファン	８０	８０	１φ１００Ｖ	０．０５ＫＷ	１	プラスチック製，高静圧形

天井吊防振金具他付属品一式



浴室平面詳細図　１／５０

凡　例
- 壁取付換気扇
- 天井埋込型換気扇
- 中間ダクトファン
- ØVD　ＶＤ（ダンパー）
- ユニット付属吹込口
- ―EA― 排気ダクト
- ―D― ドレン管

注記）
- ―――― は新設を示す。
- ---------- は既設を示す。
- ―||―― は既設接続を示す。

使用材料

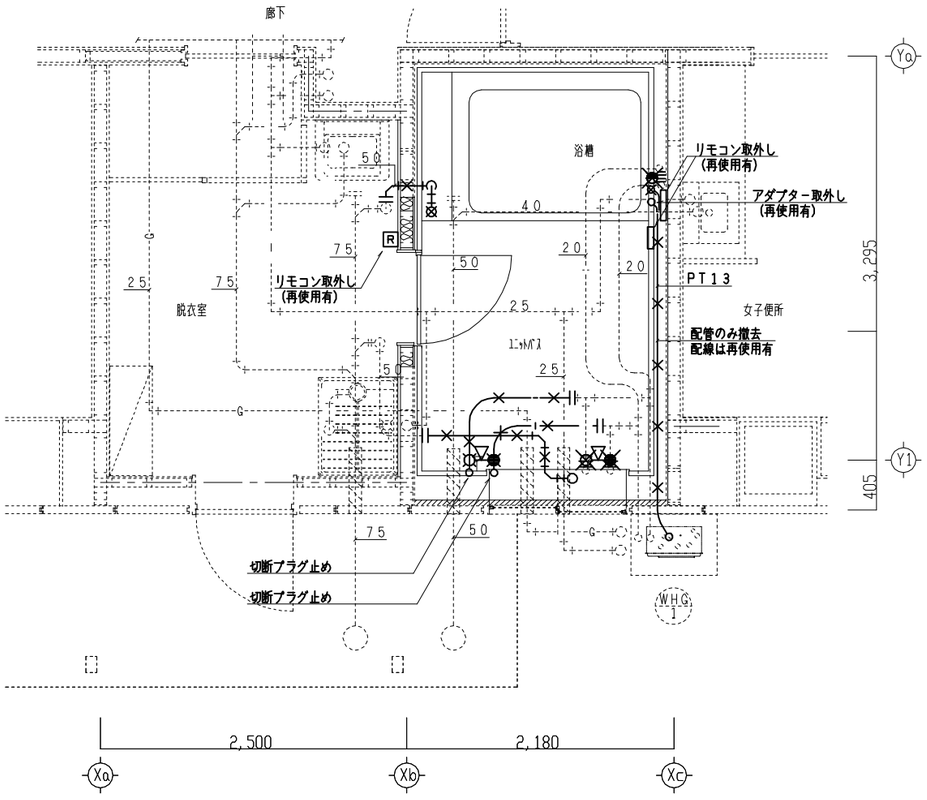
ダクトはステンレス製スパイラルダクトとする。
ドレン配管は硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）とする。

date		株式会社 匠設計（たくみ）	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（消防本部）	scale	No.
2023.3						図面名	換気設備　浴室平面詳細図（現況・撤去，改修）	1/50	M-03

現況・撤去

衛生器具表（撤去）

名　称	品　番	台数	備　考
壁付サーモスタット混合水栓		2	

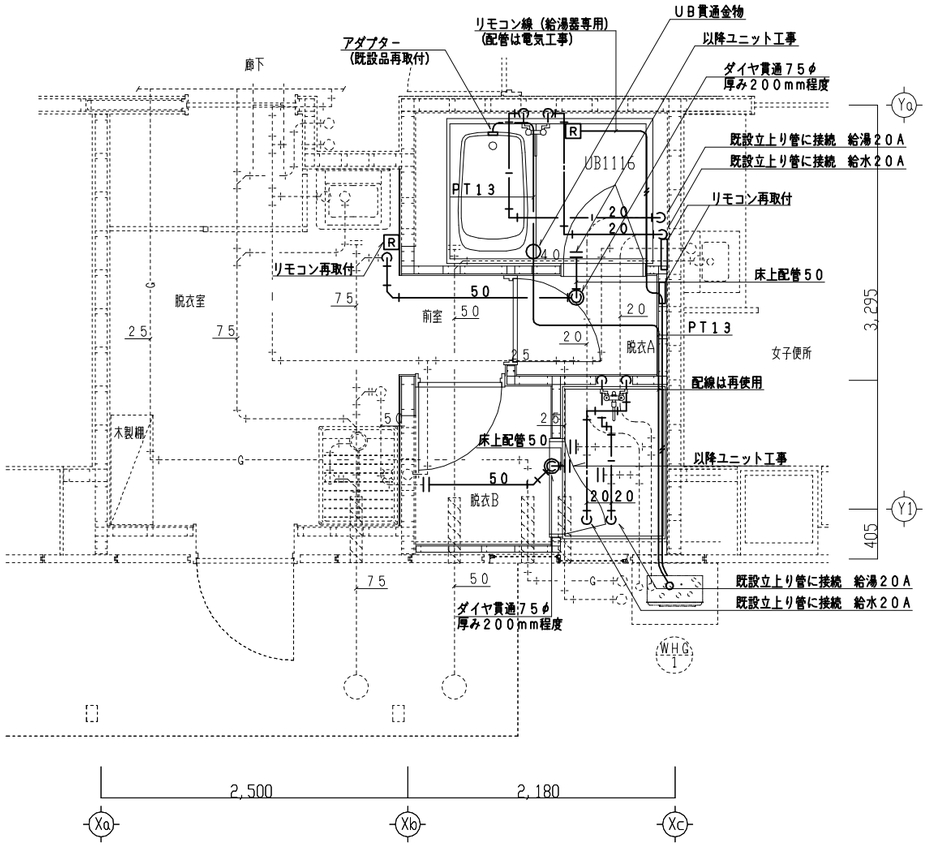


浴室平面詳細図　1／50

ユニットバス内器具類撤去は別途建築工事

注記）
- ×―×― は撤去を示す。
- ／／／ は放棄を示す。
- ---------- は既設を示す。
- ―||---- は切断を示す。

改　修



浴室平面詳細図　1／50

使用材料

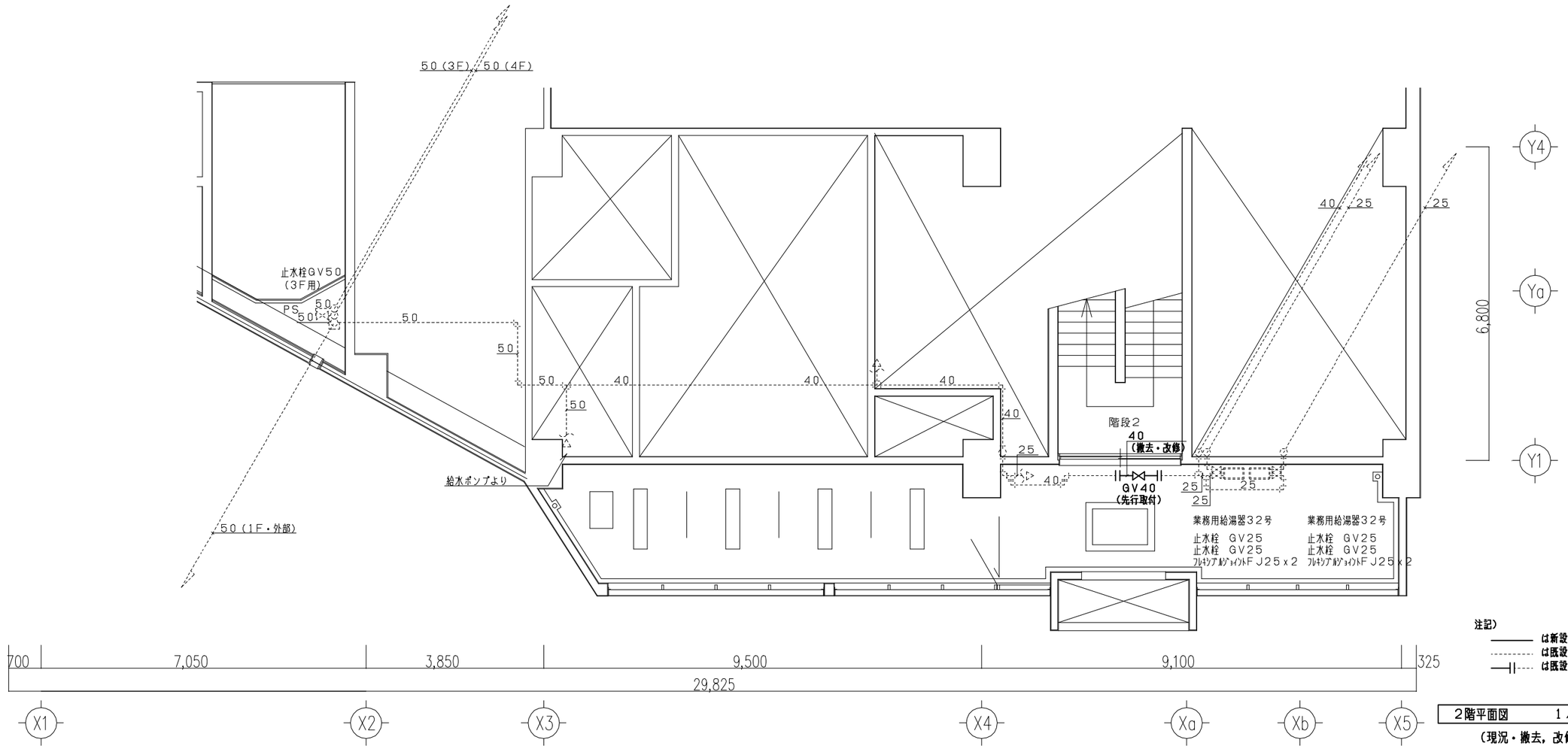
給水管：	水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）
給湯管：	保温付被覆銅管
追焚管：	ポリブデン管
雑排水・汚水・通気管：	硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）

注記）
- ―――― は新設を示す。
- ---------- は既設を示す。
- ―||---- は既設接続を示す。

特記なしの配管は給水・温水コロガシ配管
排水はピット内配管とする。

date		株式会社 匠（たくみ）設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（消防本部）	scale
2023. 3						図面名	衛生設備　浴室平面詳細図（現況・撤去，改修）	1/50

No. M-04

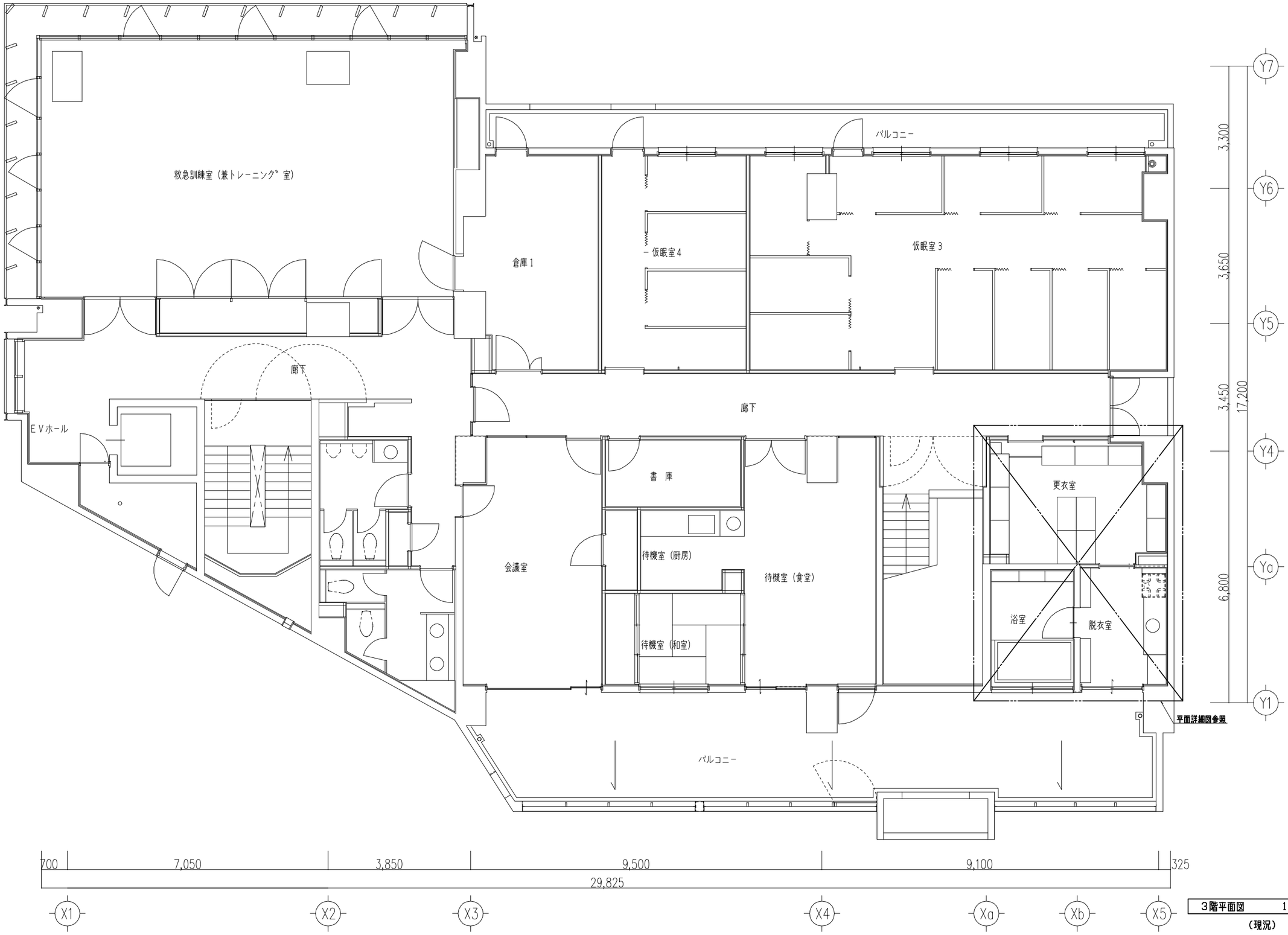


注記）
——— は新設を示す。
- - - は既設を示す。
—||— は既設接続を示す。

2階平面図　1／100
（現況・撤去，改修）

date		株式会社 匠設計（たくみ）	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（守口消防署　東部出張所）	scale
2023.3						図面名	機械設備　２階平面図（現況・撤去，改修）	1/100

No. M-05



3階平面図　1／100

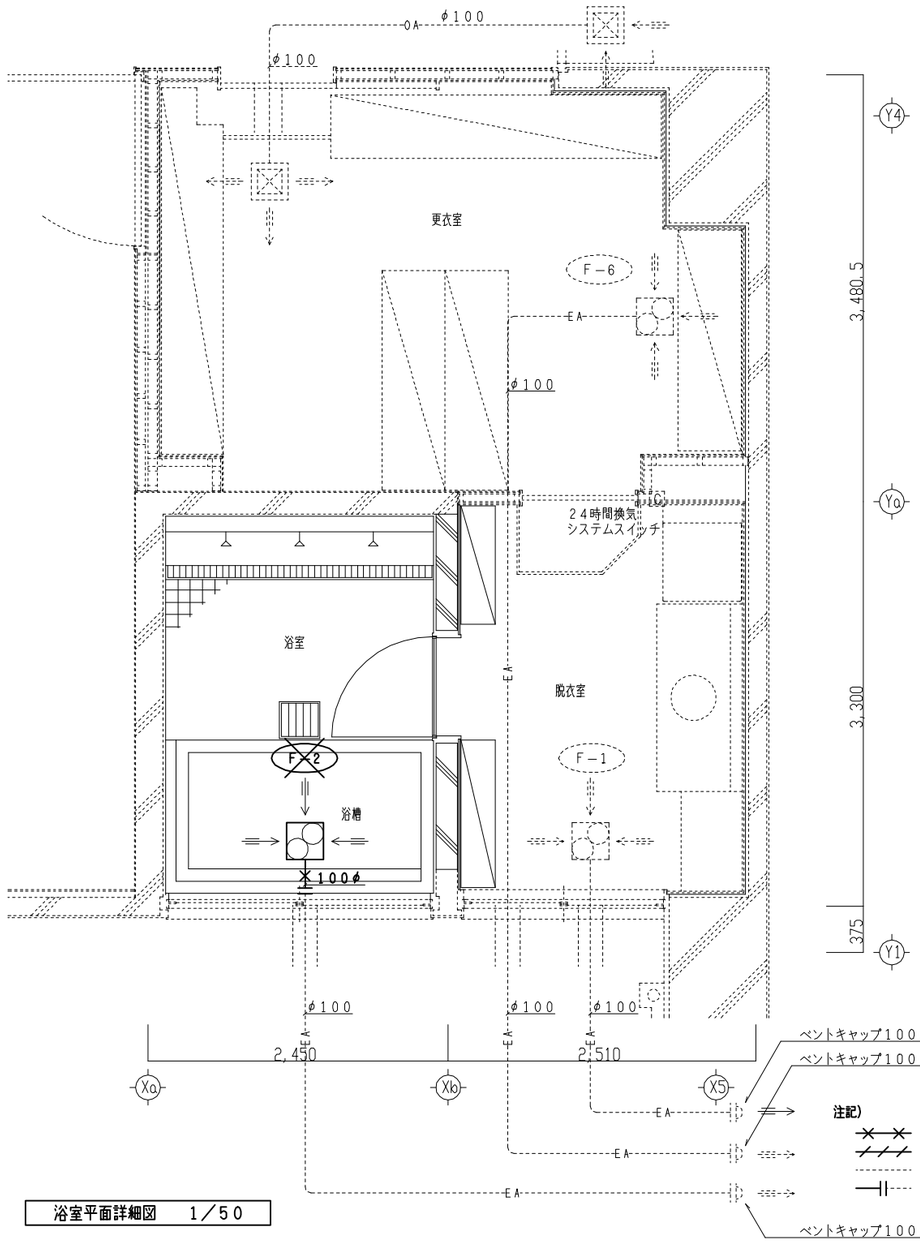
（現況）

date		株式会社 匠（たくみ）設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（守口消防署　東部出張所）	scale	No.
2023.3						図面名	機械設備　３階平面図（現況）	1/100	M-06

現況・撤去

換気機器表（撤去）

記　号	型　式	能　力	台数	備　考
F－2	ダクト用換気扇	100φ×175CMH	1	VD－15ZC9

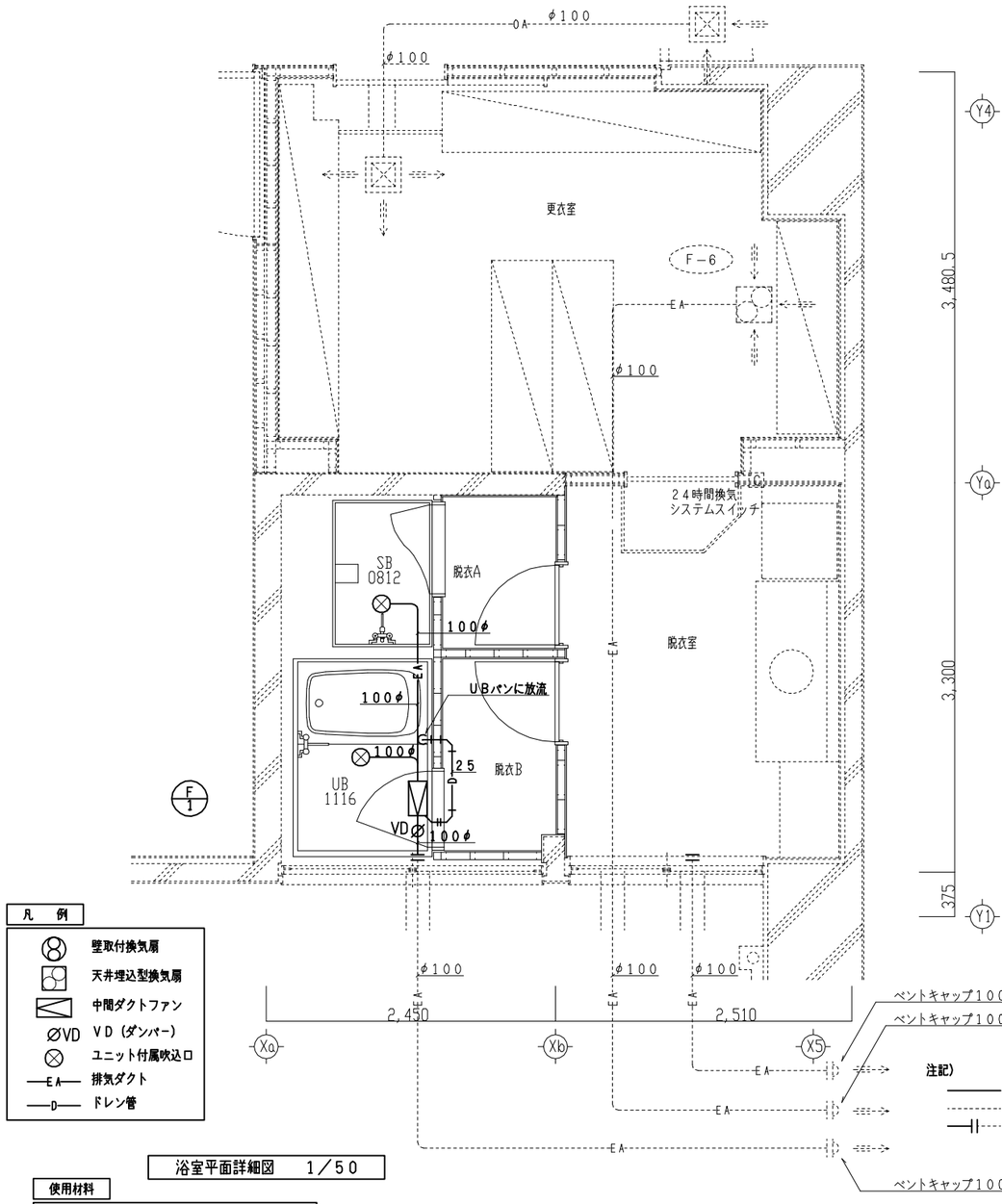


浴室平面詳細図　1／50

改　修

記　号	型　式	風量CMH	静圧Pa	電気容量		台数	備　考
F－1	シロッコファン	80	80	1φ100V	0．05KW	1	プラスチック製，高静圧形

天井吊防振金具他付属品一式



凡　例

- 壁取付換気扇
- 天井埋込型換気扇
- 中間ダクトファン
- VD　VD（ダンパー）
- ユニット付属吹込口
- EA　排気ダクト
- D　ドレン管

浴室平面詳細図　1／50

使用材料

ダクトはステンレス製スパイラルダクトとする。
ドレン配管は硬質ポリ塩化ビニル管（VP）とする。

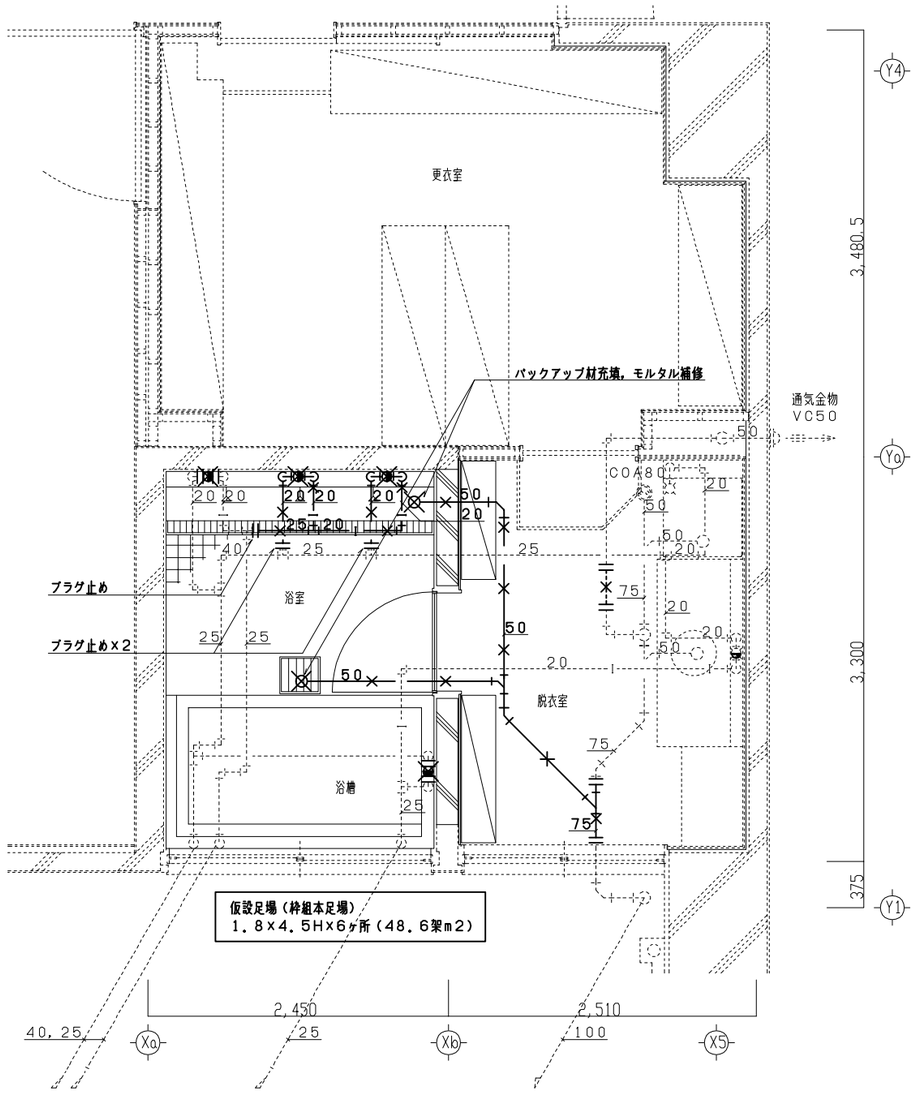
date		株式会社 匠（たくみ）設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（守口消防署　東部出張所）
2023.3						図面名	換気設備　浴室平面詳細図（現況・撤去，改修）

scale	No.
1/50	M-07

現況・撤去

衛生器具表（撤去）

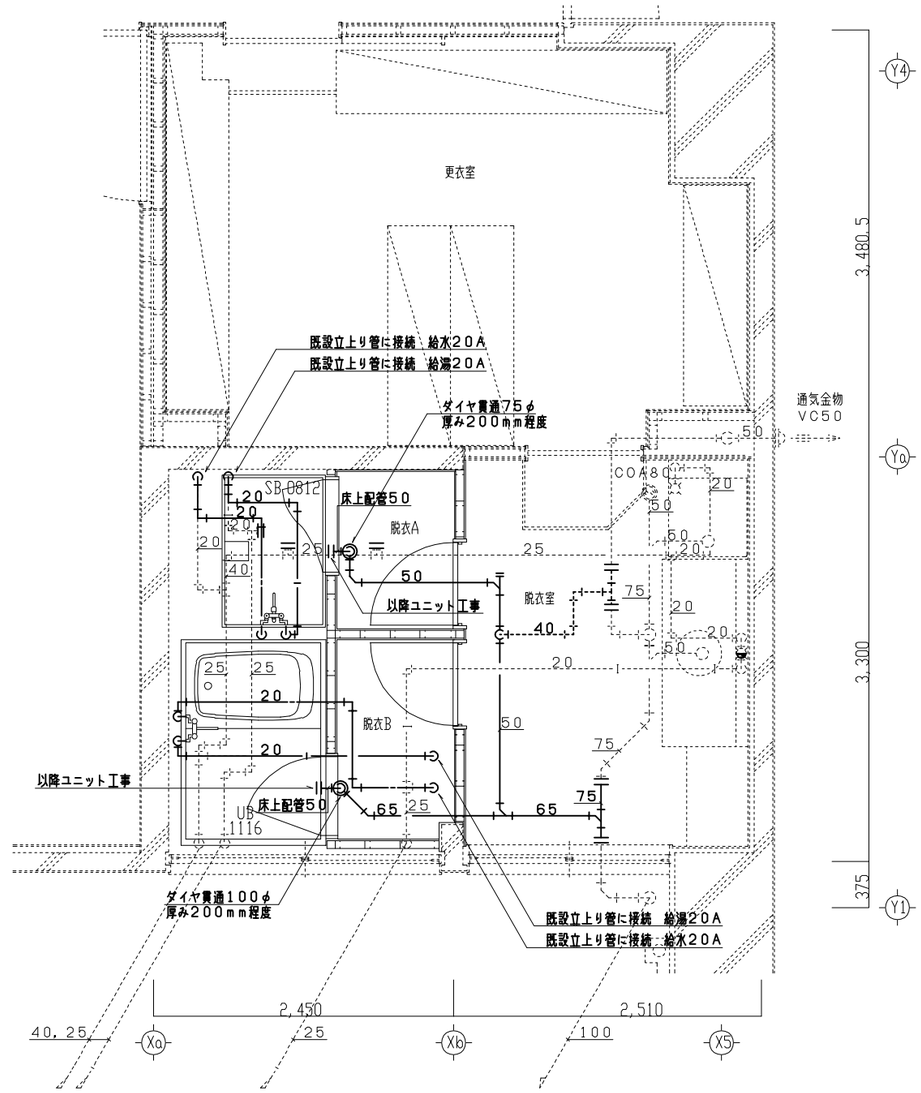
名　称	品　番	台数	備　考
壁付サーモスタット混合水栓	TMF44CS	3	シャワー金具
大口径パス水栓	TMH20-2A20	1	混合栓
排水金物	50A	2	



浴室平面詳細図　1／50

注記）
- は撤去を示す。
- は放棄を示す。
- は既設を示す。
- は切断を示す。

改　修



浴室平面詳細図　1／50

使用材料

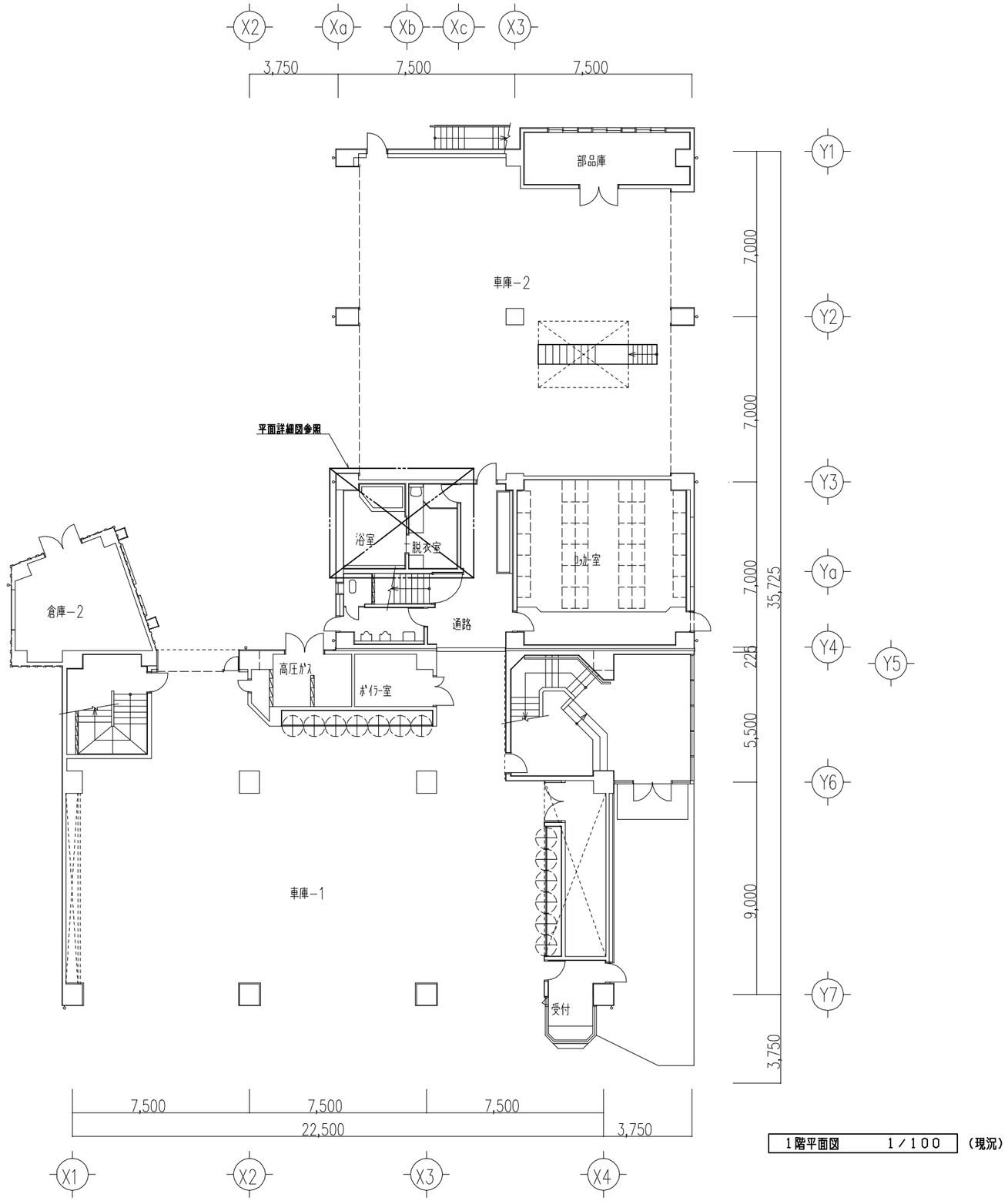
給水管：	水道用硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP）
給湯管：	ステンレス管（SUS）
雑排水・汚水・通気管：	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）

注記）
- は新設を示す。
- は既設を示す。
- は既設接続を示す。

特記なしの配管は給水・温水コロガシ配管
排水はピット内配管とする。

date		株式会社 匠設計（たくみ）	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（守口消防署　東部出張所）
2023.3						図面名	衛生設備　浴室平面詳細図（現況・撤去，改修）

scale	No.
1/50	M-08



1階平面図　1／100　（現況）

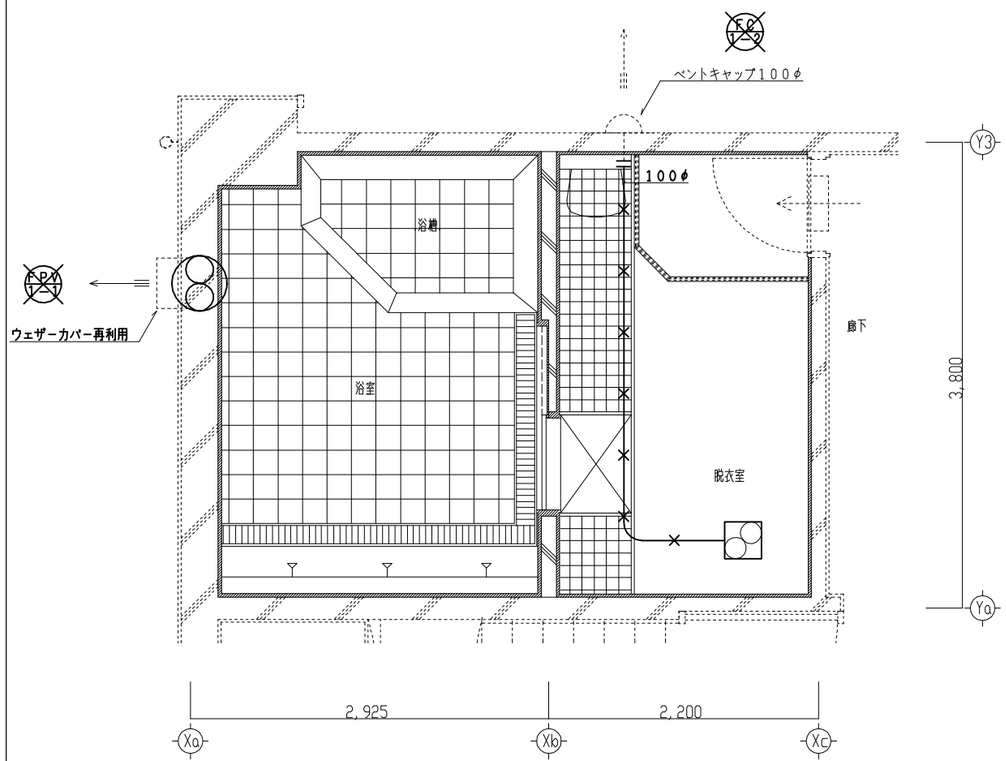
date		株式会社 匠設計（たくみ）	設計者	担当	作図	工事名 浴室個室化改良工事（門真本署）	scale
2023.3						図面名 機械設備　1階平面図（現況）	1/100

No. M-09

現況・撤去

換気機器表（撤去）

記　号	型　式	能　力	台数	備　考
ＦＰＶ－１－１	有圧換気扇	２０ｃｍＸ６００ＣＭＨＸ２５Ｐａ	１	ＥＦ－２０ＹＳＸＣ
ＦＣ－１－２	ダクト用換気扇	１５０φＸ３００ＣＭＨＸ８０Ｐａ	１	ＶＤ－２０ＺＰＣ１２



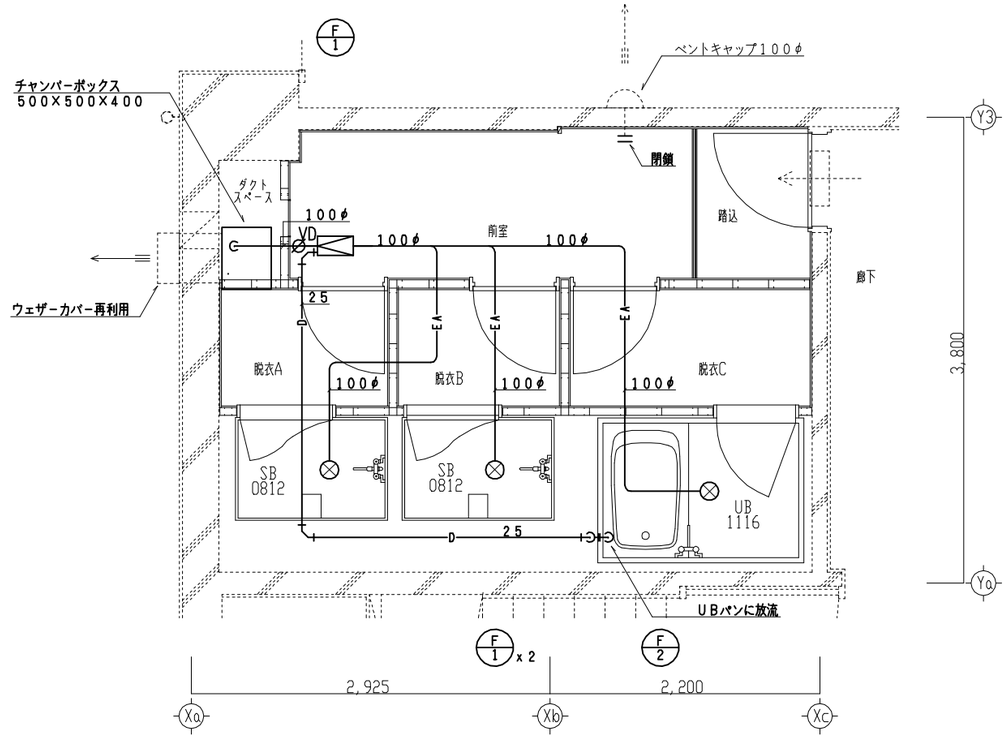
浴室平面詳細図　１／５０

注記）
- ×―×― は撤去を示す。
- ／／／／ は放棄を示す。
- ---------- は既設を示す。
- ―‖---- は切断を示す。

改　修

記　号	型　式	風量ＣＭＨ	静圧Ｐａ	電気容量		台数	備　考
Ｆ－１	シロッコファン	１３０	１００	１φ１００Ｖ	０．０５ＫＷ	１	プラスチック製，高静圧形

天井吊防振金具他付属品一式



浴室平面詳細図　１／５０

使用材料

ダクトはステンレス製スパイラルダクトとする。
ドレン配管は硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）とする。

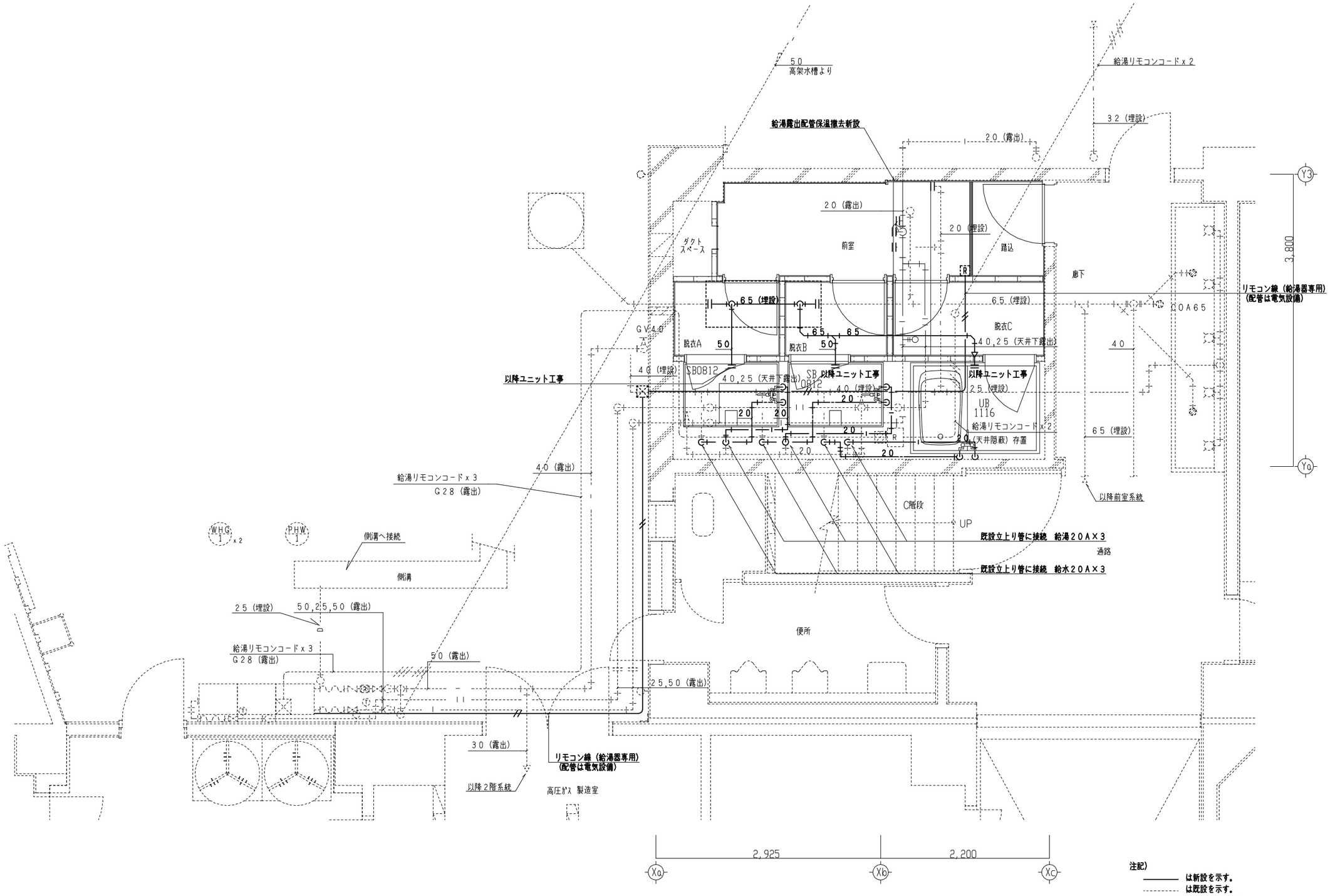
凡　例
- 壁取付換気扇
- 天井埋込型換気扇
- 中間ダクトファン
- ØVD　ＶＤ（ダンパー）
- ユニット付属吹込口
- ―EA― 排気ダクト
- ―D― ドレン管

注記）
- ―――― は新設を示す。
- ---------- は既設を示す。
- ―‖---- は既設接続を示す。

date		株式会社 匠（たくみ）設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（門真本署）
2023.3						図面名	換気設備　浴室平面詳細図（現況・撤去，改修）

scale	No.
1/50	M-10

改 修



浴室平面詳細図　1／50

使用材料

給水管：	水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）
給湯管：	保温付被覆鋼管
雑排水・汚水・通気管：	硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）

注記）

——— は新設を示す。

- - - - - は既設を示す。

—||- - - - は既設接続を示す。

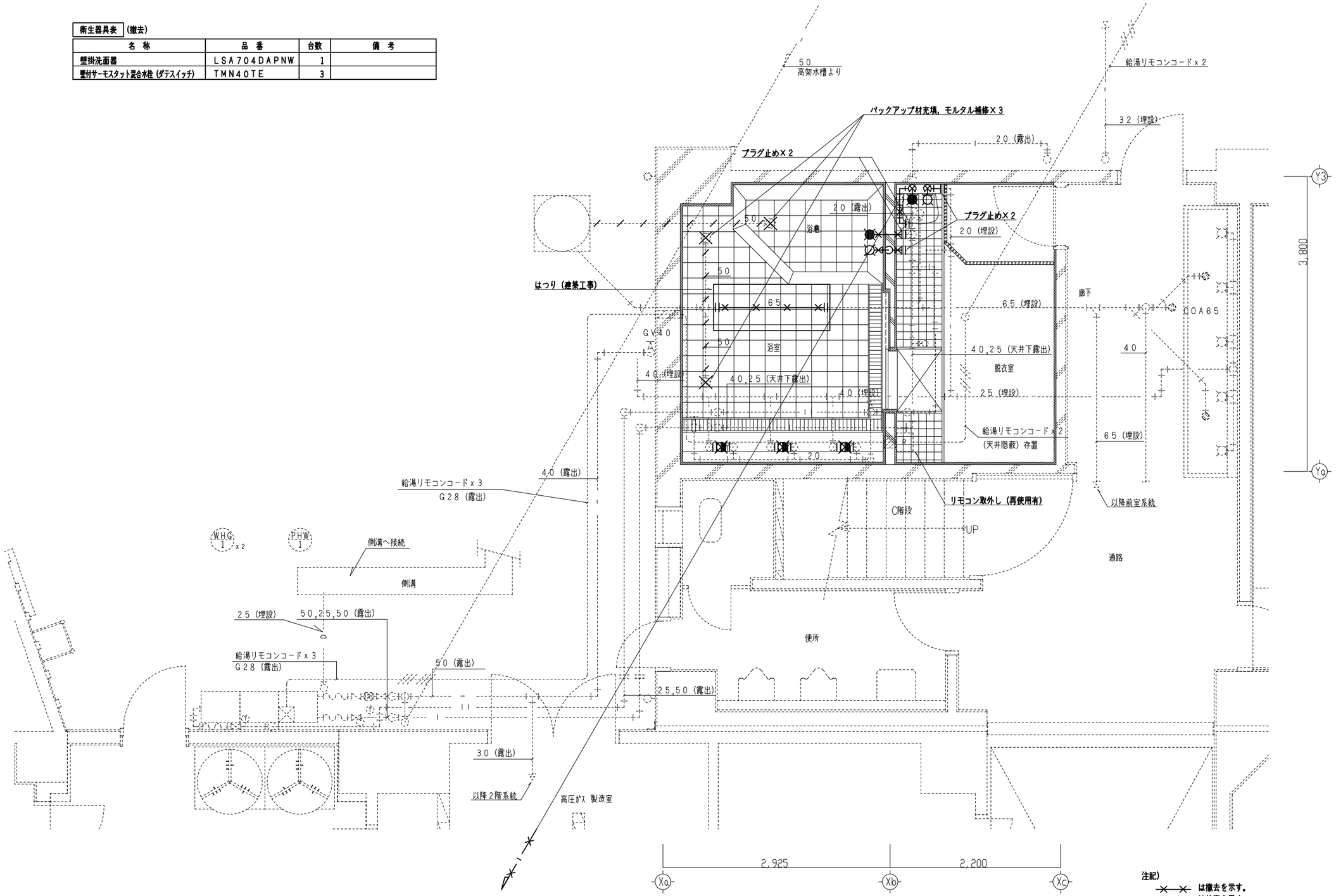
特記なしの配管は床コロガシとする。

date		株式会社 匠（たくみ）設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（門真本署）	scale
2023.3						図面名	衛生設備　浴室平面詳細図（改修）	1/50

No. M-11

衛生器具表（撤去）

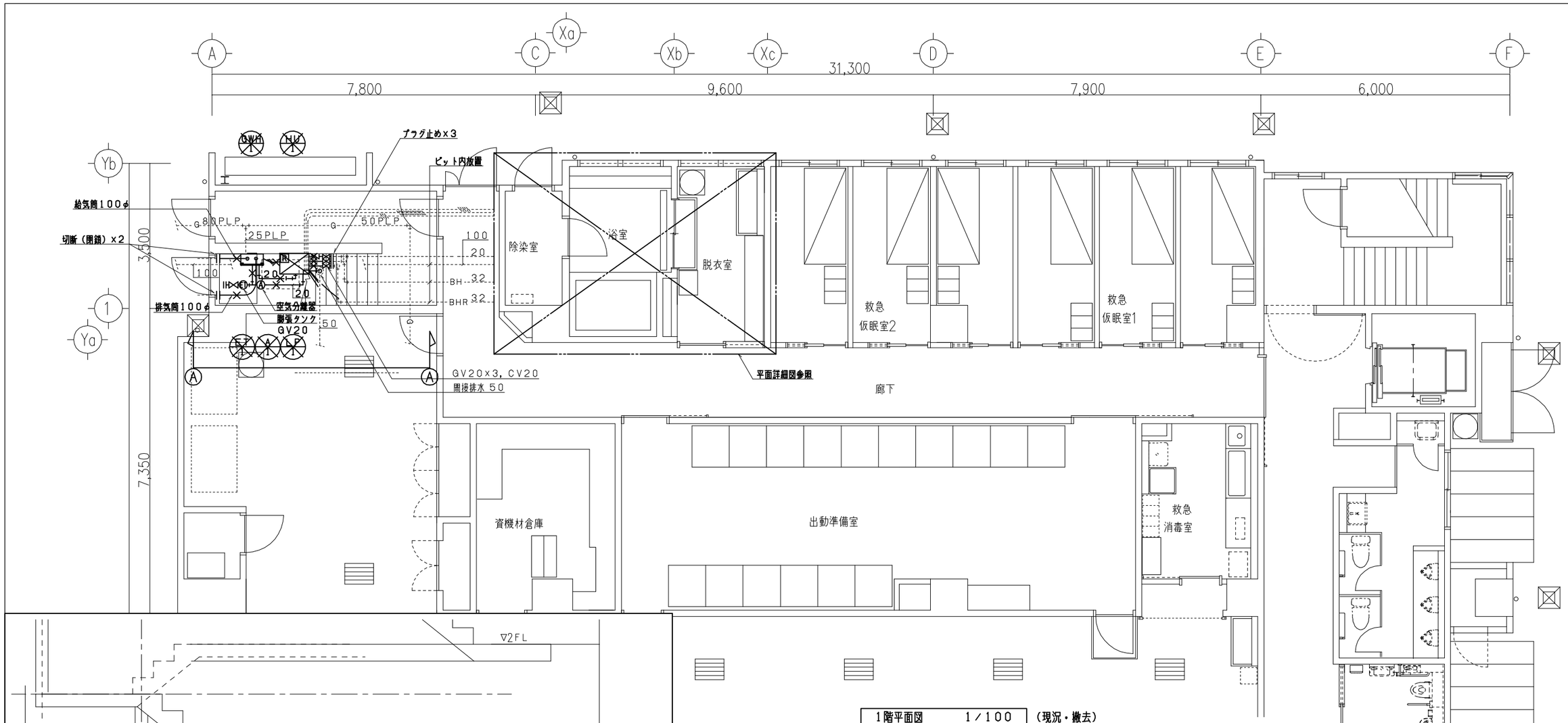
名　称	品　番	台数	備　考
壁掛洗面器	LSA704DAPNW	1	
壁付サーモスタット混合水栓（ダテスイッチ）	TMN40TE	3	



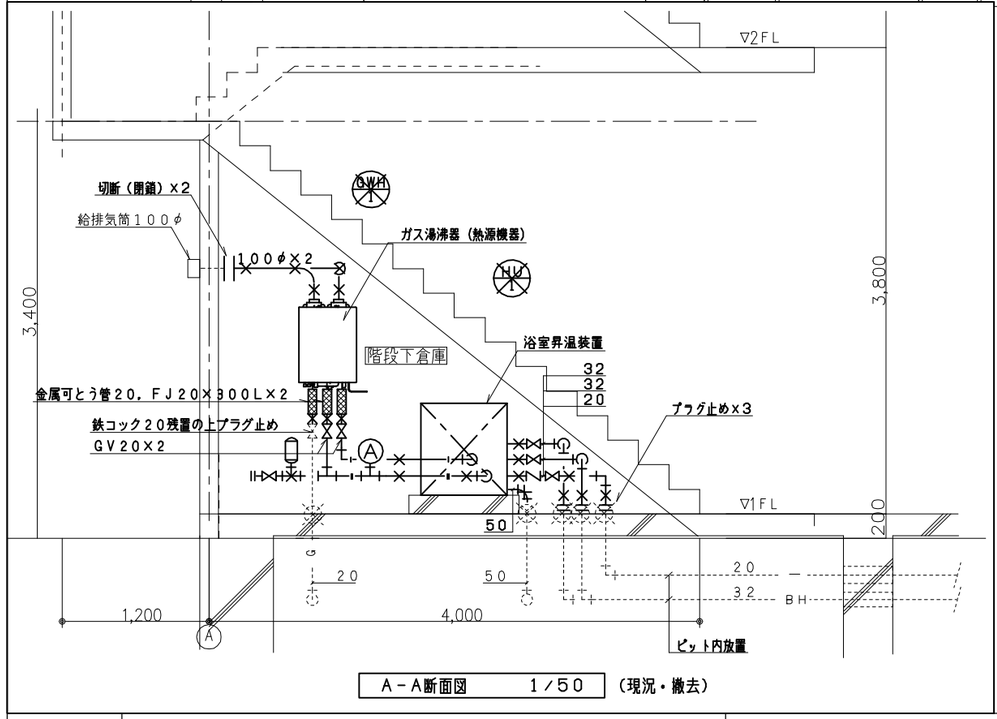
注記）
- ×―×― は撤去を示す。
- ／―／― は改築を示す。
- ------ は既設を示す。
- ―||―― は切断を示す。

浴室平面詳細図　1／50

date		設計者	担当	作図	工事名	scale	No.
2023.3	株式会社 匠（たくみ）設計				浴室個室化改良工事（門真本署）	1/50	M-12
					図面名 衛生設備　浴室平面詳細図（現況・撤去）		



1階平面図　1／100　（現況・撤去）



A－A断面図　1／50　（現況・撤去）

昇温装置機器表　（撤去）

機器番号	機器名称	仕　様	数量	設置場所
GWH-1	ガス給湯器	型　式：屋内壁掛型FF方式（浴室昇温熱源用）	1	B階段下倉庫
		仕　様：都市ガス13A，32号，ガス消費量69．2KW		
		付属品：メインリモコン，リモコン配線，給排気筒トップ100φ		
		他標準付属品一式		
		参考品番：RUXC-V3201FF（リンナイ）		
HU-1	浴槽昇温ユニット	追い焚き能力：10，000Kcal／H　SUS316製熱交換器　（ダイレオ）	1	B階段下倉庫
		浴槽水循環能力：20L／min		
		浴槽循環ポンプ：非自吸式 25Ax0．25KW（定格出力） SUS製 単相100V		
		ヘアキャッチャー・安全弁・空気弁（サイフォンカッター）・切替電動三方弁・減圧弁		
		温度センサー・専用制御盤・遠隔盤		
MX-1	適温水補給ユニット	E2F-20x20UY　（ダイレオ）	1	除染シャワー室
FL-1	浴槽水位計	FL-400-5S　（ダイレオ）	1	PS
A-1	空気分離器	AP-31，AV1531ZZ　（ダイレイ）	1	B階段下倉庫
ET-1	膨張タンク	密閉式　容量：8L、封入圧力0．15MPa	1	B階段下倉庫
			1	B階段下倉庫
	昇温装置制御盤	300x300x200D	1	脱衣室

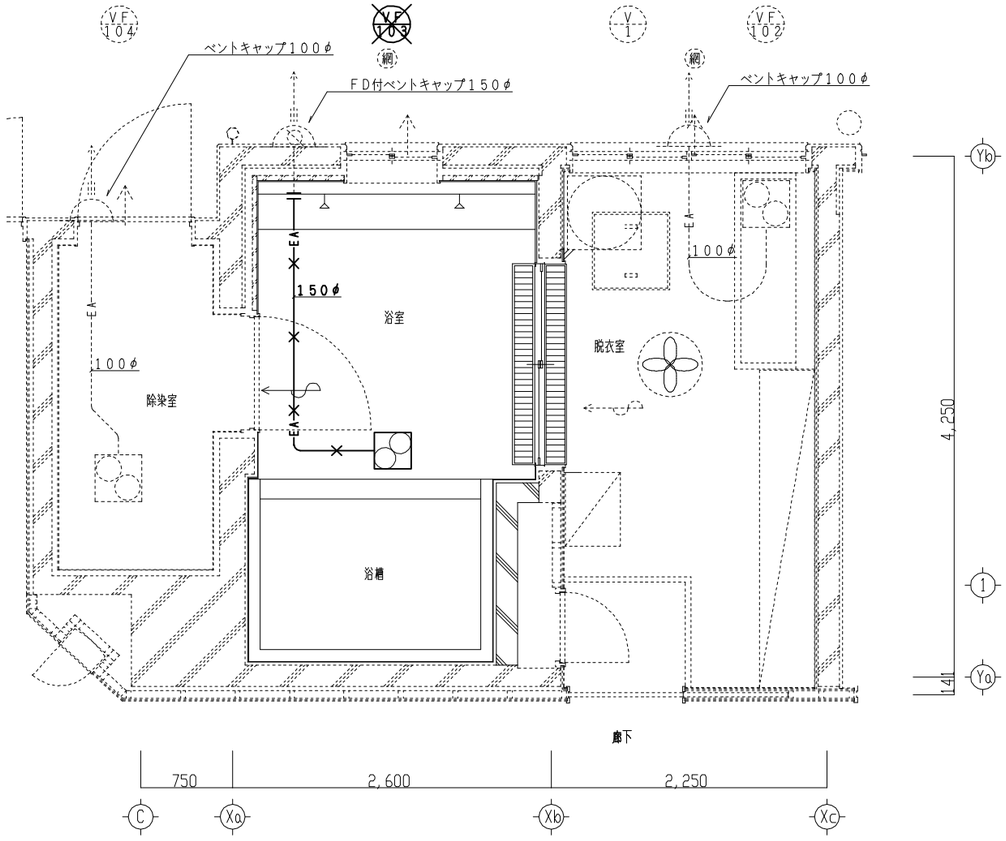
date		株式会社 匠（たくみ）設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（門真消防署　南部出張所）	scale
2023．3						図面名	機械設備　１階平面図（現況・撤去）	1/100

No. M-13

現況・撤去

換気機器表（撤去）

記　号	型　式	能　力	台数	備　考
ＶＦ－１０３	ダクト用換気扇	１５０φＸ２９０ＣＭＨＸ５０Ｐａ	1	ＶＤ－２０ＺＢ１０



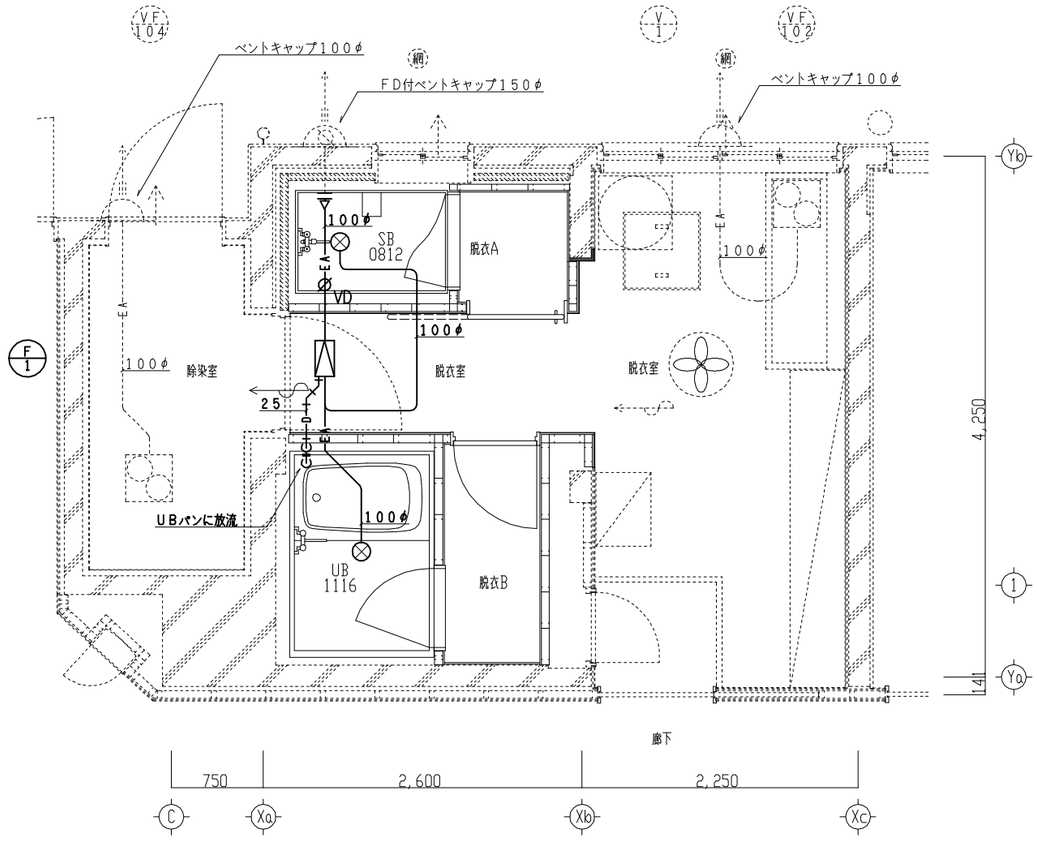
浴室平面詳細図　１／５０

注記）
- ×―×― は撤去を示す。
- ／／／／ は放棄を示す。
- ---------- は既設を示す。
- ―‖---- は切断を示す。

改　修

記　号	型　式	風量ＣＭＨ	静圧Ｐａ	電気容量		台数	備　考
Ｆ－１	シロッコファン	８０	９０	１φ１００Ｖ	０．０５ＫＷ	1	プラスチック製，高静圧形

天井吊防振金具他付属品一式



浴室平面詳細図　１／５０

使用材料

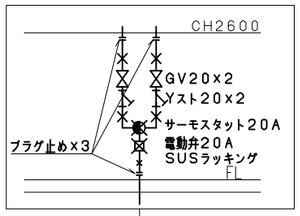
ダクトはステンレス製スパイラルダクトとする。
ドレン配管は硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）とする。

凡　例
- 壁取付換気扇
- 天井埋込型換気扇
- 中間ダクトファン
- ØVD ＶＤ（ダンパー）
- ユニット付属吹込口
- ―EA― 排気ダクト
- ―D― ドレン管

注記）
- ――― は新設を示す。
- ---------- は既設を示す。
- ―‖---- は既設接続を示す。

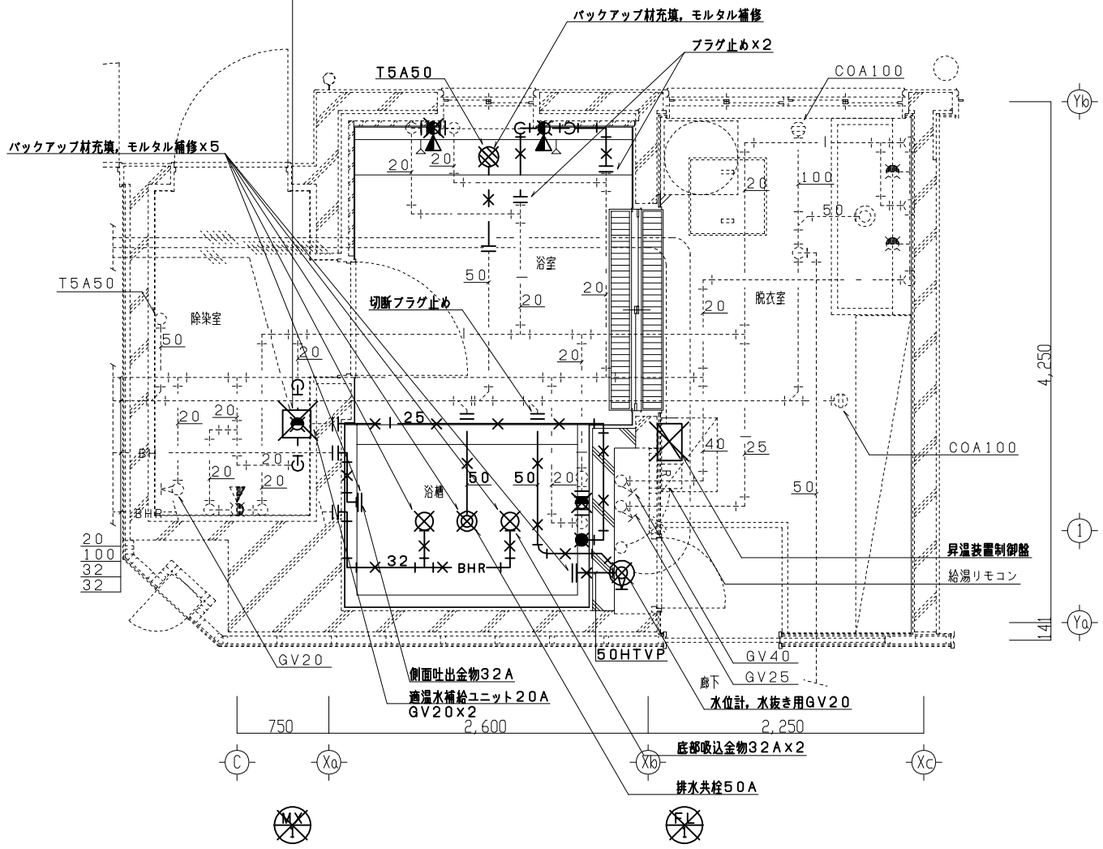
date		設計者	担当	作図	工事名	scale	No.
2023.3	株式会社 匠（たくみ）設計				浴室個室化改良工事（門真消防署　南部出張所）	1/50	M-14
					図面名 換気設備　浴室平面詳細図（現況・撤去，改修）		

現況・撤去



衛生器具表（撤去）

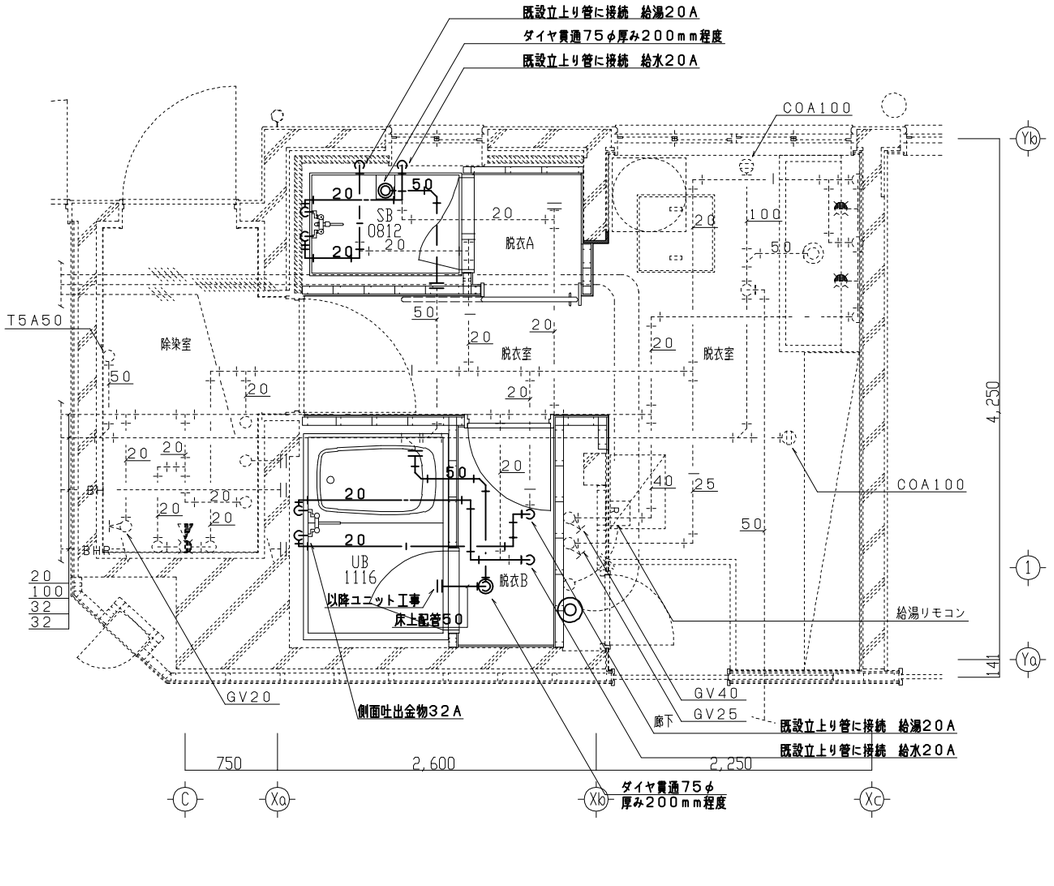
名　称	品　番	台数	備　考
シャワー水栓	TMGG40SEW	2	TOTO
床排水金物	T5A50	1	
側面吐出金物	32A	1	
底部吸込金物	32A	2	
浴槽排水共栓	50A	1	



浴室平面詳細図　1／50

注記）
- ×―×―× は撤去を示す。
- ／／／／ は放棄を示す。
- ------ は既設を示す。
- —||— は切断を示す。

改　修



浴室平面詳細図　1／50

使用材料

給水管：	水道用硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP）
給湯管：	ポリブデン管
雑排水・汚水・通気管：	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）

注記）
- ——— は新設を示す。
- ------ は既設を示す。
- —||— は既設接続を示す。

特記なしの配管は給水・温水コロガシ配管
排水はピット内配管とする。

date		株式会社 匠設計（たくみ）	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（門真消防署　南部出張所）	scale
2023. 3						図面名	衛生設備　浴室平面詳細図（現況・撤去，改修）	1/50

No. M-15